

1・火	市民の日 世界エイズデー 小江戸川越七福神巡りの日
2・水	
3・木	酉の市(連雀町・熊野神社) 国際障害者デー 障害者週間(～9)
4・金	人権週間(～10)
5・土	
6・日	休日当番医=石井クリニック(内・小・外・産婦・麻)今福467-3・TEL244-6205
7・月	大雪
8・火	吞龍デー
9・水	
10・木	広報川越発行日 世界人権デー
11・金	
12・土	
13・日	休日当番医=渋谷整形外科(整外・理)天沼新田117-3・TEL232-6377
14・月	
15・火	
16・水	
17・木	
18・金	青少年を育てる日 食育の日
19・土	収納窓口開設(～20)
20・日	家庭の日 休日当番医=品田クリニック(内・小・産婦)砂新田4丁目19-1・TEL246-2255
21・月	
22・火	冬至
23・水	天皇誕生日 祝日収集=その他プラスチック製容器包装(水コース) 休日当番医=康正会病院(外・整外・内)山田320-1・TEL223-5711
24・木	市立学校終業式
25・金	広報川越発行日
26・土	
27・日	休日当番医=加藤耳鼻咽喉科医院(耳)笠幡3025-11・TEL234-6177
28・月	成田山のみ市の市
29・火	休日当番医=三井病院(内・外・整外)連雀町19-3・TEL222-5321
30・水	休日当番医=武蔵野総合病院(内・外・整外・脳外)大袋新田977-9・TEL244-6340
31・木	大みそか 休日当番医=行定病院(内)脇田本町4-13・TEL242-0382

■主な月間 大気汚染防止推進月間 地球温暖化防止推進月間 冬の省エネキャンペーン(～3/31)

*市議会定例会は、11月25日(水)から開催します。日程など詳しくは、議会事務局議事課・TEL224-6067にお尋ねください。
休日の診療機関(電話のかけまちがいに、ご注意ください)

内科・小児科=市立診療所(小仙波町2丁目45-5・TEL223-0601) 受付時間…午前9時～11時・午後1時～3時・午後8時～10時30分

*小児科の診療(急患のみ)は、月～金曜日の午後8時～10時にも行っています。

休日当番医=受診の際は、事前に当日の休日当番医にご確認ください 受付時間…午前9時～午後4時

歯科(急患のみ)=予防歯科センター(三久保町18-3・TEL224-3891) 受付時間…午前9時～11時30分

市税などの収納窓口の延長(12月14日(月)～18日(金))

午後7時まで収税課・国民健康保険課・医療助成課(本庁舎2階)、介護保険課(本庁舎1階)、出張所(16日(水)を除く)の窓口を延長します。また、19日(土)・20日(日)に収納窓口を開設します。詳しくは8ページをご覧ください。

問い合わせ…収税課滞納整理担当・TEL224-5691▶国民健康保険課国保収納担当・TEL224-5837▶医療助成課・TEL224-5842▶介護保険課保険料資格担当・TEL224-5817

ますきやら最優秀作品発表！

観光課・TEL224-5940

観光キャンペーン、各種行事などで活躍する川越市マスコットキャラクター（ますきやら）を製作するため、市ではイメージイラストを募集。市内外から441点が寄せられました。作品は、サツマイモ・時の鐘を題材としたものが多く、蔵・雁・ヤマブキなど川越ならではの魅力がさまざまな形に描かれていました。

応募作品を鏡山酒造跡地に展示し、8月30日から9月13日まで一般投票を実施。886票の投票は、サツマイモ・時の鐘にちなんだ作品に人気が集まりました。

一般投票の傾向を考慮して、川越市マスコットキャラクター選考委員会・作業部会で実施した第1次審査。その結果を基に川越市マスコットキャラクター選考委員会・本部会による第2次審査で協議した結果、右の作品が最優秀賞になりました。選考では、サツマイモは作品としても投票結果でも、多くの市民の支持を得ていること、時の鐘なども加わって川越らしさが表現され、やわらかい線が川越の雰囲気に合っていることなどから、この作品に決定しました。

今後、この作品を原画として、川越市マスコットキャラクターを作成します。キャラクターができましたら、名称の募集と着ぐるみの製作を進めていきます。完成した川越市の「ますきやら」は、各種印刷物やイベントだけでなく、埼玉県の「ゆる玉応援団」にも参加する予定です。



作者=畑中皇子さん(西小仙波町1丁目・32歳)

時が薫る川越の観光

社団法人小江戸川越観光協会が50周年を迎えました

小江戸川越観光キャッチフレーズ「時 薫るまち 川越」

作者=浜田あゆ美さん(足利市)



左から、中原秀久市議会議員・川合市長・衆原会長・齊藤英雄川越商工会議所会頭・山崎嘉正県物産観光協会会長

「観光」という言葉が普及し始めた昭和30年代。時代に先駆けて川越市に観光協会が発足しました。その50年に及ぶ歩みを記念して、10月28日、川越プリンスホテルで祝賀会が開催されました。

会場では川合善明市長の祝辞のほか、功労者表彰、記念事業として629点の公募作品の中から選ばれた小江戸川越観光キャッチフレーズが発表されました。「川越を訪れる方が楽しい時を過ごせるよう、先達の心をしっかり受け止め、将来につなげていきます」と、糸原恒久小江戸川越観光協会会長はこれからの抱負を語りました。